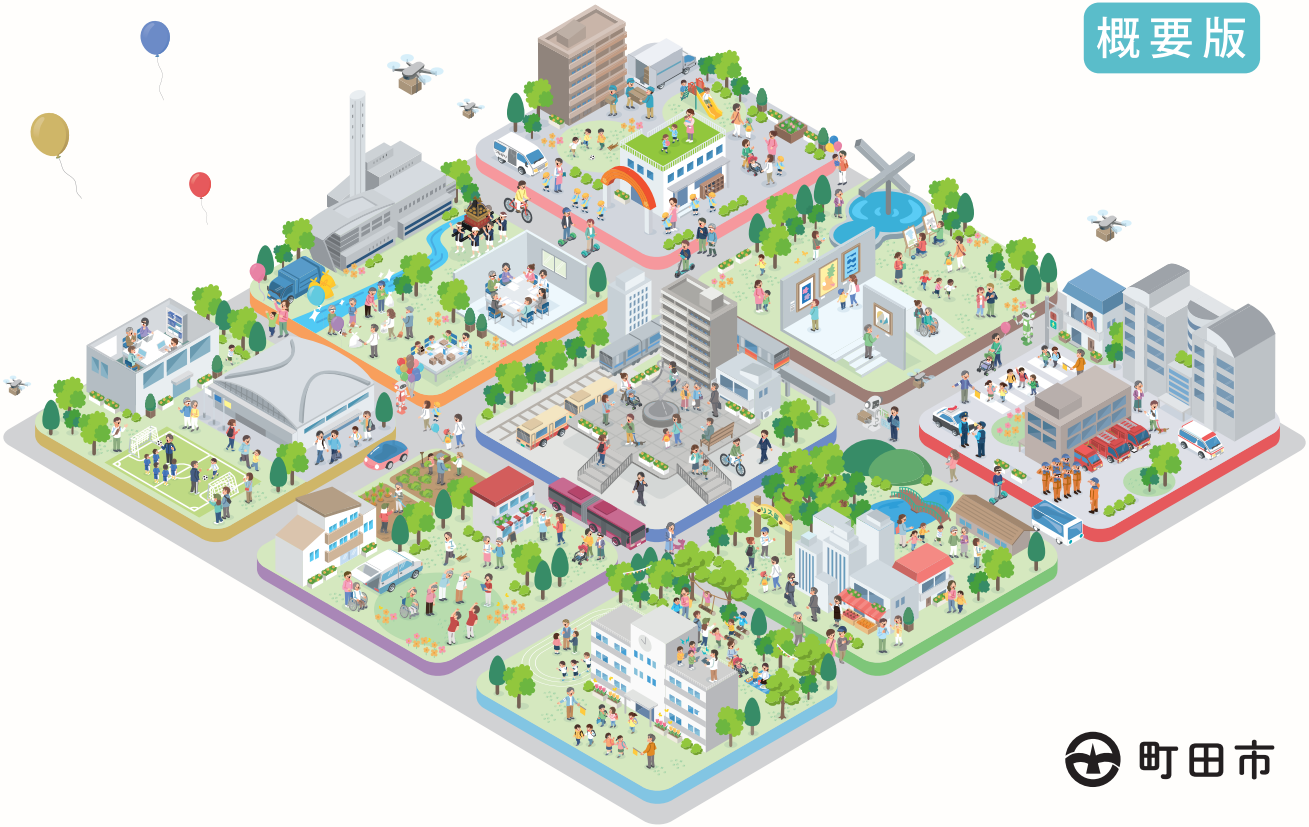
町田市基本構想・基本計画

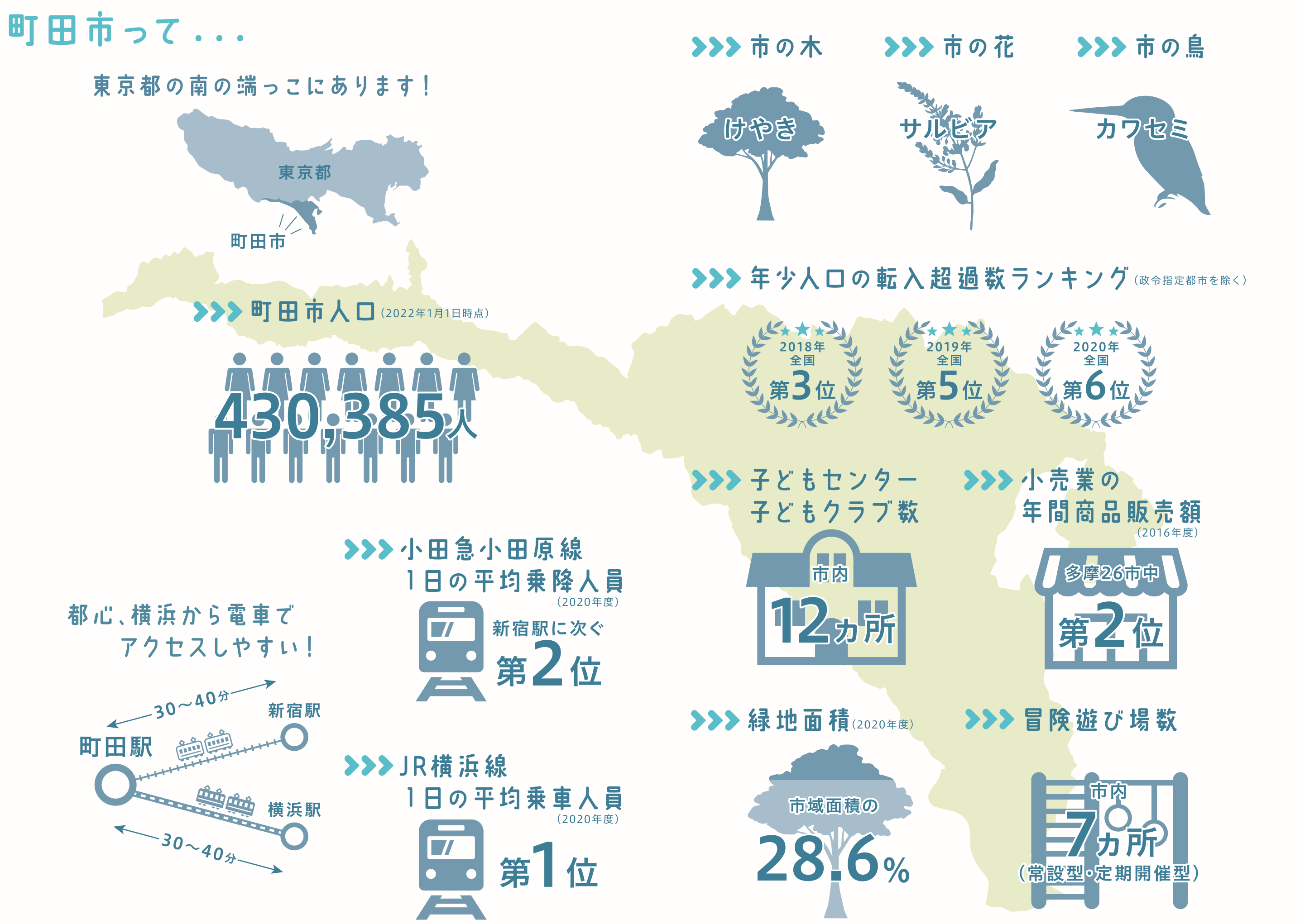
まちだ未来づくりビジョン2040

Machida Mirai-zukuri Vision 2040

概要版



町田市



目　次

まちだ未来づくりビジョン2040とは・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・3
2040なりたい未来・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・4
まちづくり基本目標・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・10
経営基本方針・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・17
横断的なテーマ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・18
参考資料（2022～2026年度の財政見通し）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・19

まちだ未来づくりビジョン2040とは

〈策定の趣旨〉

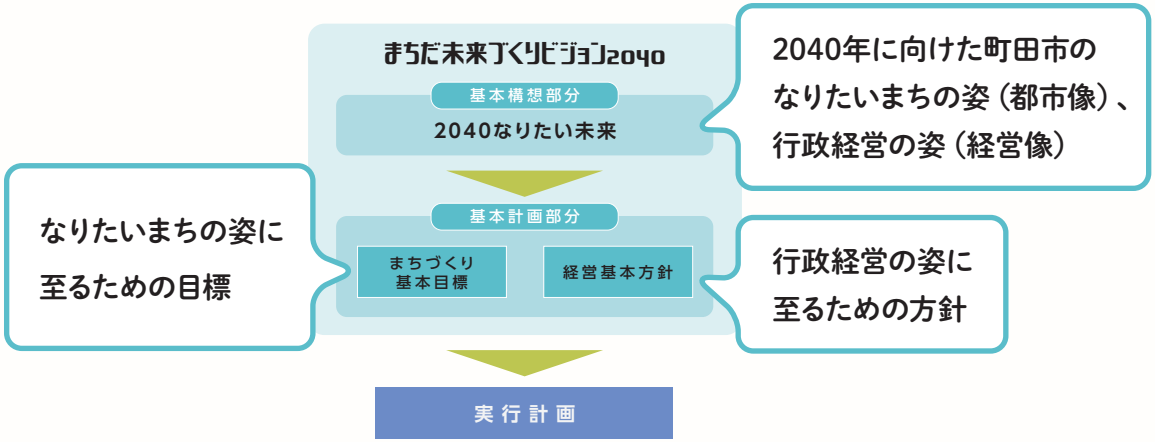
超高齢化や生産年齢人口の減少、テクノロジーの進展、ライフスタイルの多様化など、町田市を取り巻く社会経済状況は大きな変化を迎えています。

町田市は、このことを大きなチャンスと捉え、誰もが夢を描くことができ、幸せを感じられる未来をつくるため、まちづくりと市政運営の基本方針として「まちだ未来づくりビジョン２０４０」を策定します。

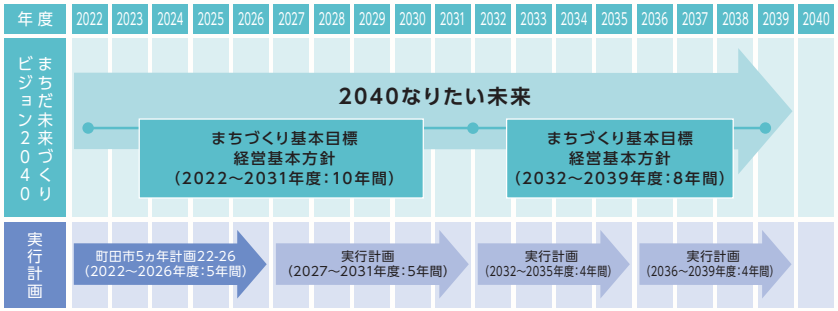
〈構　成〉

基本構想部分を担う「2040なりたい未来」と基本計画部分を担う「まちづくり基本目標」・「経営基本方針」で構成します。

また、具体的な事業と取り組みは、実行計画で別途お示しします。



〈期　間〉



2040なりたい未来

これまでの町田市のまちづくりは、暮らす人、働く人、訪れる人など、多くの「人」によって支えられてきました。そして、それはこれからも変わらないことであり、多様であることが当たり前の社会においては、一人ひとり生き方の違う「人」が、それぞれのライフステージにおいて活躍できる環境があることがより重要になってきます。

このことを踏まえ、「2040なりたい未来」では、誰もが夢を持ち、その夢を実現できるまち、一人ひとりが輝けるまちとなるため、町田市のまちづくりの方向性となりたいまちの姿、そして、行政経営の方向性と行政経営の姿を示します。

〈2040年の町田市のイメージ〉

未来の町田を一言で表すキャッチコピーを以下のとおり定めます。

なんだ かんだ まちだ

「なんだかんだ言っても、やっぱり町田が一番」。

自分や家族が成長していく場所として、仕事や学び、遊びに励む場所として、一息つく場所として、知らず知らずのうちに町田を選んでいる。

これは、都市と自然のバランスのよさに加え、自由な発想や生き方を受け入れる寛容さを町田というまちが持っているからにほかなりません。

様々な理由で一度は離れたとしても、肩肘張らずに暮らせる環境を求めて、結局は町田に戻ってくるような、そんな皆に愛されるまち、ほかにはないユニークなまちのイメージを表現しています。

〈将来人口〉

2040年における、町田市の将来人口を40万人と想定し、「2040なりたい未来」の実現に向け、皆さんと一緒にまちづくりを進めます。

〈なりたいまちの姿①〉

ここでの成長が
カタチになるまち

〈まちづくりの方向性①〉

子どもと共に成長し、
幸せを感じることができる

親や祖父母、地域など、子どもを取り巻く様々な主体が、子どもと共に成長し幸せになれるまちづくりを進めます。そしてその先には、ここで暮らしてよかったと誰もが思えるような、それぞれにとっての幸せのカタチが生まれている、そんなまちを目指します。

〈なりたいまちの姿②〉

わたしの“ココチよさ”が
かなうまち

〈まちづくりの方向性②〉

ちょっといい環境の中で、
ちょうどいい暮らしができる

住む人、働く人、学ぶ人、近隣に暮らす人たちまでもがワクワクできる、職住近接に暮らしの楽しさをプラスした生活の拠点となるようなまちづくりを進めます。そしてその先には、それぞれにとってのココチよさがかなえられている、そんなまちを目指します。

〈なりたいまちの姿③〉

**誰もがホッと
できるまち**

〈まちづくりの方向性③〉

**人と人とがつながりながら、
多様な価値を尊重し合うことができる**

温かい人と人とのつながりがあり、どこか懐かしいけど新しさも感じられるまちづくりを進めます。そしてその先には、誰もがホッとできる居場所を地域の中に見つけられている、そんなまちを目指します。

〈行政経営の姿〉

**みんなの“なりたい”が
かなうまち**

〈行政経営の方向性〉

**多様な主体と共に、町田らしい
公共サービスを展開していく**

町田市の持つ魅力や強みをいかしたサービスを提供するとともに、あらゆる事態に迅速かつ柔軟に立ち向う行政経営を進めます。一人ひとりに最適な公共サービスを展開することで、市民生活をより豊かなものとし、それぞれのなりたいをかなえる行政経営を目指します。

〈計画体系〉

まちづくり基本目標

ライフステージ（概ねの年齢）

関連するライフステージ

【政策】

【施策】

胎児期・幼年期（0～5歳）

少年期（6～18歳）

1 赤ちゃんに選ばれるまちになる

- 1-1 魅力ある子育て環境をつくる
- 1-2 多様な保育サービスを提供する

2 未来を生きる力を育み合うまちになる

- 2-1 子どもが自分らしく育つ場を提供する
- 2-2 学ぶ意欲を育てる
- 2-3 教育環境を充実させる
- 2-4 地域の教育力を高める

関連するライフステージ

全世代に向けて

【政策】

【施策】

6 つながりを力にするまちになる

- 6-1 つながり、支え合える基盤をつくる
- 6-2 みんなで将来に受け継ぐ持続可能な環境をつくる

7 ありのまま自分を表現できるまちになる

- 7-1 一人ひとりの個性を大切にする地域をつくる
- 7-2 文化芸術に親しめる環境・機会を充実させる

経営基本方針

【基本方針】

【改革項目】

1 共創で新たな価値を創造する

- 1-1 情報の双方向性を高める
- 1-2 行政サービスのデジタル化を推進する
- 1-3 多様な主体との協力体制を強化する

2 対話を通して市役所能力を高める

- 2-1 強くしなやかな組織を構築する
- 2-2 未来を創る職員を育てる

※「関連するライフステージ」では、政策の関連度を色の濃淡で示しています。

青壮年期（19～44歳）	中年期（45～64歳）	高年期（65歳～）
3 自分らしい場所・時間を持てるまちになる	**4** いくつになっても自分の楽しみが見つかるまちになる	**5** 人生の豊かさを実感できるまちになる
3-1 ビジネスしやすく、働きやすい環境をつくる	4-1 生涯にわたる学習の「しやすい」を支援する	5-1 高齢者が地域でいきいきと暮らせる環境をつくる
3-2 町田ならではの地域資源をいかす	4-2 スポーツへの参加機会を充実させる	5-2 高齢者を地域で支える体制をつくる

全世代に向けて

8 思わず出歩きたくなるまちになる

- 8-1 気軽に出かけてつながれる環境をつくる
- 8-2 ライフスタイルに合わせて自分らしくまちを使えるようにする
- 8-3 健やかで心地よい時間を過ごせる環境をつくる

9 みんなが安心できる強いまちになる

- 9-1 ひと・まちを災害に強くする
- 9-2 地域の安全を守る
- 9-3 市民の健康を守る

3 次世代につなぐ財政基盤を確立する

- 3-1 持続可能な財政基盤づくりを推進する
- 3-2 市有財産を利活用する

経営基本方針は、
まちづくり基本目標の
実現を支えます。

まちづくり基本目標

なりたいまちの姿①～③を実現するために、何を目標にどのようにまちづくりを進めるかを示します。

また、2040年を見据え、多様なライフスタイルとこれからの人の生き方を思い、ライフステージを意識した政策体系とします。

胎児期・幼年期（0～5歳）	少年期（6～18歳）	青壮年期（19～44歳）	中年期（45～64歳）	高年期（65歳～）

＼ 政 策 ／

1 赤ちゃんに選ばれるまちになる

安心して子どもを産み育てていく場所として町田市が選ばれ続けていくよう、また、子育ての希望がかなえられるよう、魅力ある子育て環境の整備や、育児と仕事の両立支援などを行っていきます。

こんな姿を目指します

子育て世帯をはじめ、周囲や地域の人たちみんなで楽しく子育てができています。

施策1-1

魅力ある子育て環境をつくる

施策1-2

多様な保育サービスを提供する

＼ 政 策 ／

2 未来を生きる力を育み合うまちになる

町田市で育った子どもたちが様々な分野で活躍できるよう、また、地域全体で成長していくことができるよう、子どもたちの学ぶ意欲を育てる取り組みや、教育環境の充実などを図っていきます。

こんな姿を目指します

大人と子どもが共に成長し、まちづくりに取り組んでいます。

施策2-1
子どもが自分らしく育つ場を提供する

16 平和と公正をすべての人に　17 パートナーシップで目標を達成しよう

施策2-2
学ぶ意欲を育てる

4 質の高い教育をみんなに　5 ジェンダー平等を実現しよう　12 つくる責任 つかう責任　16 平和と公正をすべての人に　17 パートナーシップで目標を達成しよう

施策2-3
教育環境を充実させる

4 質の高い教育をみんなに　17 パートナーシップで目標を達成しよう

施策2-4
地域の教育力を高める

17 パートナーシップで目標を達成しよう

胎児期・幼年期（0～5歳） | 少年期（6～18歳） | **青壮年期（19～44歳）** | 中年期（45～64歳） | 高年期（65歳～）

＼ 政 策 ／

3 自分らしい場所・時間を持てるまちになる

こんな姿を目指します

仕事でも遊びでも、町田市で充実した日々が送れるよう、多様な働き方に適した環境づくりや、地域資源の魅力向上・情報発信などを行っていきます。

様々な活動が生まれ、活気と魅力があふれる町田市のことを誰もが好きになっています。

施策3-1
ビジネスしやすく、働きやすい環境をつくる

5 ジェンダー平等を実現しよう　8 働きがいも経済成長も　9 産業と技術革新の基盤をつくろう　17 パートナーシップで目標を達成しよう

施策3-2
町田ならではの地域資源をいかす

2 飢餓をゼロに　8 働きがいも経済成長も　11 住み続けられるまちづくりを　12 つくる責任つかう責任　15 陸の豊かさも守ろう　17 パートナーシップで目標を達成しよう

胎児期・幼年期（0～5歳） | 少年期（6～18歳） | 青壮年期（19～44歳） | **中年期（45～64歳）** | 高年期（65歳～）

＼ 政 策 ／

4 いくつになっても自分の楽しみが見つかるまちになる

こんな姿を目指します

いくつになっても、打ち込めるものが見つけられるよう、生涯学習の支援や、スポーツ環境の充実などを図っていきます。

仕事や家庭からはなれても、地域で学習やスポーツに触れる機会があり、暮らしを豊かにできる居場所があります。

施策4-1
生涯にわたる学習の「しやすい」を支援する

4 質の高い教育をみんなに　11 住み続けられるまちづくりを　17 パートナーシップで目標を達成しよう

施策4-2
スポーツへの参加機会を充実させる

3 すべての人に健康と福祉を　17 パートナーシップで目標を達成しよう

＼ 政 策 ／

5 人生の豊かさを実感できるまちになる

高齢になっても人生の豊かさを感じながら地域で暮らすことができるよう、いきいきと暮らせる環境づくりや、高齢者を地域全体で支えていく体制づくりなどを行っていきます。

こんな姿を目指します

地域が「支え手」「受け手」という関係を超えて支えあい、高齢者が健やかで自分らしさを感じることができています。

施策5-1 高齢者が地域でいきいきと暮らせる環境をつくる

3 すべての人に健康と福祉を　11 住み続けられるまちづくりを　17 パートナーシップで目標を達成しよう

施策5-2 高齢者を地域で支える体制をつくる

3 すべての人に健康と福祉を　17 パートナーシップで目標を達成しよう

全世代に向けて

＼政 策／

6 つながりを力にするまちになる

地域におけるつながりを力にできるよう、支え合える基盤をつくり、その基盤に基づく持続可能な生活環境づくりなどを行っていきます。

こんな姿を目指します

「自分ゴト」としての活動が市内で生まれ、その成果をあらゆる分野に活用できています。

施策6-1
つながり、支え合える基盤をつくる

施策6-2
みんなで将来に受け継ぐ持続可能な環境をつくる

全世代に向けて

＼政 策／

7 ありのまま自分を表現できるまちになる

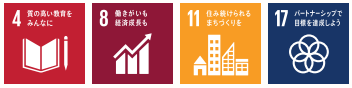
みんながありのままの自分を表現できるよう、個性を大切にする地域づくりや、文化芸術に親しめる環境・機会の充実などを図っていきます。

こんな姿を目指します

誰もが生きづらさから解放され、いろいろなかたちで自分の思いや考えを発することができています。

施策7-1
一人ひとりの個性を大切にする地域をつくる

施策7-2
文化芸術に親しめる環境・機会を充実させる



全世代に向けて

＼政 策／

8 思わず出歩きたくなるまちになる

町田市が思わず出歩きたくなるまちでいられるよう、気軽に出かけてつながれる環境づくりや、健やかで心地よい時間を過ごせる環境づくりなどを行っていきます。

こんな姿を目指します

人々の活発な交流が生まれ、まちが成長し続けています。

施策8-1
気軽に出かけてつながれる環境をつくる

9 産業と技術革新の基盤をつくろう　11 住み続けられるまちづくりを　17 パートナーシップで目標を達成しよう

施策8-2
ライフスタイルに合わせて自分らしくまちを使えるようにする

9 産業と技術革新の基盤をつくろう　11 住み続けられるまちづくりを　17 パートナーシップで目標を達成しよう

施策8-3
健やかで心地よい時間を過ごせる環境をつくる

2 飢餓をゼロに　11 住み続けられるまちづくりを　17 パートナーシップで目標を達成しよう

全世代に向けて

＼政 策／

9 みんなが安心できる強いまちになる

どんな災害や疫病にも負けない、とにかく強いまちになれるよう、ひと・まちを災害に強くするとともに、地域の安全を守る、そして市民の健康を守るための取り組みなどを行っていきます。

こんな姿を目指します

大規模災害などがあっても、みんなが協力し合い、乗り越えようとする連帯感が生まれています。

施策9-1
ひと・まちを災害に強くする

施策9-2
地域の安全を守る

施策9-3
市民の健康を守る

経営基本方針

「行政経営の姿」を実現し、市民から信頼される市役所を目指すため、市役所の能力を高めるとともに、市民一人ひとりのニーズに適したサービスを生み出していく手法と資源を体系的に示します。

＼基本方針／

1 共創で新たな価値を創造する

多様な主体との連携を推進することにより、地域の活性化やまちづくりを効果的に推進します。また、情報の発信と共有を積極的に行うとともに、市民ニーズを的確に把握し、市民の声を施策へ反映します。市民の理解と共感を得ながら、共にまちづくりに挑戦する「共創のまちづくり」を進めます。

＼基本方針／

2 対話を通して市役所能力を高める

対話を通して、気づきを得ることで、職員の意識改革や業務改革を進め、市民に信頼される行政経営を行います。また、急速に変化する社会環境に即応するため、強くしなやかな組織づくりと、挑戦する人材の育成を行います。

＼基本方針／

3 次世代につなぐ財政基盤を確立する

税収の減少など厳しい財政状況が予想される中でも、将来にわたって選ばれるまちであるよう安定した財政基盤を確立します。また、公共施設などを総合的に維持管理するとともに、市有財産の効率的、効果的な利活用を進めます。

横断的なテーマ

少子化対策や減災・防災、更に、それらを進めていく上で欠かせない視点である市民の利便性向上などは、様々な分野に関わる「2040なりたい未来」の実現のためのテーマです。関連する政策分野にスポットを当て横断的に取り組むことは、各テーマに焦点を当てた国が主導する個別計画などの推進にもつながっていきます。

参考資料

5年間(2022～2026年度)の財政見通し

単位：億円
(1億円未満 四捨五入)

	2022年度（令和4年度）	2023年度（令和5年度）	2024年度（令和6年度）	2025年度（令和7年度）	2026年度（令和8年度）	5ヵ年合計
歳　　入（一般財源）	936	935	964	960	962	4,757
市税	685	694	695	696	696	3,466
譲与税・交付金等	141	140	136	141	147	705
基金繰入金	36	20	45	40	40	181
その他	74	81	88	83	79	405
歳　　出（一般財源）	936	939	983	984	989	4,831
義務的経費	400	394	406	410	415	2,025
人件費	201	190	197	189	194	971
扶助費	127	128	130	131	133	649
公債費	72	76	79	90	88	405
その他の経費	536	545	577	574	574	2,806
繰出金等	181	176	181	182	185	905
事業費	355	369	396	392	389	1,901
経常事業費	311	313	315	315	310	1,564
政策的事業費	44	56	81	77	79	337
歳入－歳出（＝▲収支不足額）	0	▲ 4	▲ 19	▲ 24	▲ 27	▲ 74

※2023年度から2026年度の収支不足額については、「町田市5ヵ年計画22-26」における財政見通しにおいて、経営改革プランの取り組み及び経常事業費などの縮減によって対応することとしています。

町田市基本構想・基本計画　まちだ未来づくりビジョン2040　概要版

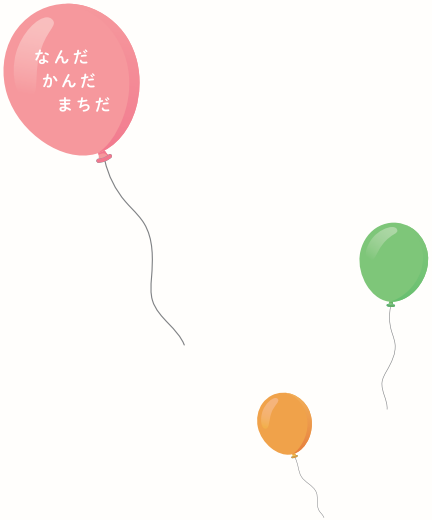
2022年3月 発行

発　行　者　町田市政策経営部
企画政策課・経営改革室
町田市森野2－2－22
☎ 042－724－2103

刊行物番号　21-64

印　刷　者　株式会社 芳文社

なんだ かんだ まちだで
いいこと
ふくらむ
まちだ



まちだ未来づくりビジョン2040

Machida Mirai-zukuri Vision 2040